



## 釧路市医師会女医会の設立について

釧路市医師会 足立柳理  
足立皮膚科美容外科クリニック

平成17年12月13日、釧路全日空ホテルにおいて、釧路市医師会女医会の設立準備会が開催されました。

釧路市に在住し、釧路市内の医療機関に勤務する先生の中で、賛同を得られた方たちにお声をかけることにしましたが、短期の出張で来ている先生たちは、診療業務が忙しく、なかなか時間が取れないようでした。しかし、当日は、吹雪で交通事情が悪い中、他の会とも重なったにもかかわらず12名の先生が参加して下さいました。その後の2次会は、他の会に出ていた2名の先生も参加され、30名中14名の参加者を得て、準備会としては多くの先生に参加していただくことができました。

初めてお会いする先生もかなりいらっしゃり、会は自己紹介から始まって、緊張の中にも和やかに進行いたしました。

普段、自分の事をあまり話す機会がないせいか、話は大いに盛り上がり、自己紹介に1時間半もかかってしまいました。そんな事で、会の発足に向けての会則の決定や、役員を選出の時間が無くなるほどでしたが、皆さん大変楽しい時間を共有することができました。

そもそも、女医会を立ち上げようと決意した訳は、そんなに難しいことから始まったものではありませんでした。単に日頃、添書を介してしか話をしたことがなかった先生同志が、楽しく話し合い、同姓として何か助け合えないものかと考えていた折に、釧路労災病院耳鼻科部長の吉田眞子先生にお会いし、お互いの意気が投合し、会を立ち上げようとなった次第です。一人にお話すると、賛同の輪が広がり、「いつ、会を開くの?」「私も出たい。」という反響が高まり、準備会開催

となりました。会の発足の準備をしていくうちに、日本女医会や北海道女性医師の会のことを勉強させていただきましたが、私たち女医がおかれている立場が非常に不安定で、弱い立場であることも再確認できました。

以前、北海道医師会で行われた「女性医師の会」に釧路市医師会の代表として参加させていただいたことがありましたが、女性の場合いろいろな環境と立場によりその置かれている状況には、かなりの差があるとつくづく考えさせられました。

平成14年現在の女性医師の数は、38,810人で、平成12年に比較して、3,962人(11.4%)増加しており、その構成比は、15.6%を占めるようになりました。そして、29歳未満の女医の数だけを見ても、33%を占めるようになってきており、日本でも世界の趨勢と同じように、女性医師の数が大変増えてきているのは事実であります。

しかし、こと日本の医学会における女性医師の立場は如何でしょうか?

その地位は不安定で、私達の時代は男性の上司に気兼ねしながら、育児休暇などの休みをいただき、子育てをしながら自分の夢をあきらめて就労していらっしゃる先生がたくさんいらっしゃいました。

このまま育児などの就業環境が整備されないままに、女性医師の数が増加してきますと、産後の医療研修制度ができていない現在、途中で医業をあきらめる人が出てくることもあり、大変な損失になると思います。また、子供を抱えての躰寄せは、私達個人の犠牲で解決しなければならないことになってしまいます。こんな辛い思いは、夢を持った若い女医さんには経験させたくないと思

ますし、高度な医療を要求される今の時代においては、多発する医療訴訟に立ち向かい、自分の身を守ることは到底できません。

北海道には女性医師の会があり、私もその会員ですが、当該大学から遠い釧路の地では、なかなかその行事に参加することができず、その活動があまりみえてきません。そして、日本医師会においても女性医師を各委員会に配置しようとなされているようですが、十分であるとは思えません。

私たち釧路市で活躍する女医は、地域医療の一端を担い、釧路市におきましても、勤務医、開業医を問わずこの地になくてはならない人材ばかりです。

今まで、釧路には女性医師の会がありませんでしたし、このまま「物言わぬ女医」では、何の解決にもなりません。

診療科、出身校、医局、を問わず、和やかな会にしたいということを基本に、来年4月の設立に向けて、会長の吉田真子先生と共にさらなる準備をしまいるつもりです。

今年の衆議院選挙後、小泉内閣の目玉として誕

生いたしました、少子化男女共同参画担当大臣に猪口邦子氏が就任いたしましたことでも判りますように、社会における女性の力は大変強くなり、さまざまな分野で重要な位置を占めるようになってまいりました。それは、医学会でも同じことが言えるように思います。

このたびの原稿は、先日、釧路市で行われました「医療改革を考える市民フォーラム」に道医師会の中川俊男常任理事が参加され、基調講演をされた際に、女医会のお話をいたしましたところ、先生から道医報に原稿を書いてくださいとの要請がございましたので、拙文を投稿させていただきました。

地方で活躍し、地方の医療を担っている女医は、ここ釧路にも大勢おります。私達はお互いに助け合い、これからも歩んでいきたいと考えております。

みなさまのご協力と、ご指導をお願い申し上げます、また会則等のご指導をいただきました北海道女性医師の会会長の藤井美穂先生にこの場をお借りしてお礼を申し上げます。